

厚生労働省ホームページ「ポリオとポリオワクチンの基礎知識Q&A」新旧対照表（大阪府作成）

新（平成28年2月更新）	旧（平成26年4月更新）
問7．単独の不活化ポリオワクチンと4種混合ワクチン、どちらを接種するのですか？ ・これからDPTワクチン、不活化ポリオワクチンの接種を始める方は、4種混合ワクチンを使用してください。	問7．単独の不活化ポリオワクチンと4種混合ワクチン、どちらを接種するのですか？ ・これからDPTワクチン、不活化ポリオワクチンの接種を始める方は、原則として4種混合ワクチンを使用してください。 今後三種混合ワクチン（DPT）の供給が減る見通しであり、DPTワクチンも不活化ポリオワクチンの接種をまだしていない方は、原則として4種混合ワクチンを使用してください。 すでに接種を始めている方は、原則として最初に使用した不活化ワクチン（単独又は4種混合）を使用していただくことになりますが、単独の不活化ポリオワクチンで接種を始めた方においても、必要に応じて4種混合ワクチンを使用してください。 原則として最初に使用した不活化ワクチン（単独又は4種混合）を使用してください。 ただし、今後四種混合ワクチンの供給が増え、三種混合ワクチン（DPT）の供給が減る見通しであることから、三種混合ワクチン（DPT）と単独の不活化ポリオワクチンを同じ回数ずつ接種している場合、ワクチンの供給状況などの必要に応じて残りの接種は四種混合ワクチンを使用してください。 なお、国内臨床研究により、単独の不活化ポリオワクチンと4種混合ワクチンの併用で、十分な効果があることが確認されています。
問9．経口生ワクチンを2回接種済みですが、三種混合ワクチン（DPT）の接種が完了していません。 どのワクチン製剤で接種を完了させれば良いですか？ ・四種混合ワクチン（DPT－IPV）を使用してください。 現在、全ての販売会社における通常の市場での三種混合ワクチン（DPT）の販売が終了しているため、四種混合ワクチン（DPT－IPV）を使用して下さい。	問9．経口生ワクチンを2回接種済みですが、三種混合ワクチン（DPT）の接種が完了していません。 どのワクチン製剤で接種を完了させれば良いですか？ ・原則として三種混合ワクチン（DPT）を使用してください。 最初に使用したワクチンを使用するのが原則ですので、三種混合ワクチン（DPT）を使用してください。 ただし、三種混合ワクチン（DPT）が入手困難になった場合は、代わりに4種混合ワクチン（DPT－IPV）を使用することも可能です。

新（平成28年2月更新）	旧（平成26年4月更新）
問10. 不活化ポリオワクチンを必要回数（4回）接種済みですが、三種混合ワクチン（DPT）の接種が完了していません。 どのワクチン製剤で接種を完了させれば良いですか？ ・四種混合ワクチン（DPT－IPV）を使用してください。 現在、全ての販売会社における通常の市場での三種混合ワクチン（DPT）の販売が終了しているため、四種混合ワクチン（DPT－IPV）を使用して下さい*。 * 4回を超える不活化ポリオワクチン（IPV）接種後の有効性及び安全性が確認されたことから、添付文書上の接種上の注意の記載が変更されました。	問10. 不活化ポリオワクチンを必要回数（4回）接種済みですが、三種混合ワクチン（DPT）の接種が完了していません。 どのワクチン製剤で接種を完了させれば良いですか？ ・原則として三種混合ワクチン（DPT）を使用してください。 最初に使用したワクチンを使用するのが原則ですので、三種混合ワクチン（DPT）を使用してください。不活化ポリオワクチン（単独又は4種混合）を合計4回を超えて接種することは現段階で安全性が十分確認されておらず望ましくないため、三種混合ワクチン（DPT）が入手できない場合はお住まいの市区町村に相談してください。